



ぴよぴよ

2025年11月
たかがみねこども園
北区鷹峯土天井町53
TEL: 491-3300

11月の予定

☆タッチ ケア サロン♪

(11/11・火)

AM10:00~11:30

場所：友遊館

講師の先生をお招きして、親子のふれあい遊びをさせていただきます。お母さまがお歌をうたったり、赤ちゃんを撫でたりさすったりしながらリラックスさせることで、親子の愛情を深めていきます。

※ 10組限定としますので、来園される場合は、必ず事前予約をしてください。

☆絵本の読み聞かせ&新園庭であそぼう♪

(11/21・金)

AM10:00~11:30

場所：友遊館

絵本アドバイザーの方が絵本を読んでくださります。同じ絵本でも読み方やちょっとした工夫で違ったお話に聞こえます。お子さまと一緒に楽しい読み聞かせを聞いてみませんか？アドバイザーのお話や質問コーナーを設けます。

※ 『絵本の読み聞かせ』は、10:00~10:30です。その後、新園庭で遊びます。

※ 参加される方は、事前予約をお願いします。

《来園の際のお願い》

園へお越しの際には、

- 事前に検温をしてください（保護者・お子さま）
- 発熱（37.5度以上）や風邪の症状（咳・鼻水・下痢など）がある場合は、参加をご遠慮ください。
- お茶など各自でお持ちください。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



～おすすめ絵本～

『もりのおふろやさん』

作・絵：とよた かずひこ

発行社：ひさかたチャイルド

動物たちの絵がとてもかわらしく、思わずお風呂にはいりたくなります。

小さい年齢の子どもたちにも読むことができる絵本です。



どんなに素敵なおもちゃも、ただ渡すだけでは本当のよさは発揮できません。大切なのは、「おもちゃを通して親子がどんな時間を過ごすか」ということです。子どもにとって、大好きなお家の人と一緒に遊ぶ時間は、心が満たされる大切なひとときです。おもちゃで遊びながら目を合わせたり、お話をしたり、笑いあったりすることで、子どもの心は安定し、情緒や社会性、学ぶ力が育っていきます。

ここからは、親子でおもちゃ遊びをするときのポイントをご紹介します。

1. 「やってみたい！」を大切に

おもちゃには、遊び方の見本や使い方があるかもしれませんが、子どもはときに大人が思いもよらない遊び方をすることがあります。それは、子どもの自由な発想や好奇心のあらわれです。「それは違うよ」「こうやって遊ぶんだよ」と止めてしまわずに、「おもしろいね」「どうなるかな？」と見守ってみましょう。自由に試していく中で、子どもならではの発見や工夫が生まれます。

2. 「待つ」ことも大切なサポート

子どもが自分で考えたり、工夫したりしながら遊ぶためには、大人が少し《待つ》ことも大切です。うまくいかなくても、すぐに手を出さずに見守ってみましょう。自分で考えて試す経験が「考える力」や「やってみよう」という気持ちを育てていきます。

3. 「できた！」を一緒に喜ぶ

どんなに小さなことでも、子どもが「できた！」と感じた瞬間を見逃さず、たくさんほめてあげましょう。「積み木が積めたね！」「パズルがはまったね！やったね」と、できたことを具体的に言葉にして伝えると、子どもは「ママ（パパ）が見てくれた！」という喜びを感じます。この喜びが「もっとやってみたい！」という意欲や、「自分はできるんだ！」という自信につながっていきます。

4. 安心して遊べる環境を整える

子どもが心から遊びを楽しむためには、「ここは安心できる」「ゆっくり遊べる」という環境が大切です。おもちゃのまわりに危ないものを置かないようにしたり、テレビを消して静かな時間を作ったり、兄弟げんかにならないように工夫したりして、安心して遊べる雰囲気を整えてあげましょう。